

第4回

全国食育活動

農林水産大臣表彰 受賞記念誌

高倉の食育



令和2年7月
京都市立高倉小学校

祝 辞

京都市長 門 川 大 作

「第4回食育活動表彰 農林水産大臣賞」の御受賞、誠にありがとうございます。この度の御功績は、岸田前校長先生を先頭とする教職員の皆様、並びに地域・保護者の皆様が丸となって子どもたちの健やかな成長のために尽力してこられた賜物です。改めて、深く敬意を表します。

高倉小学校が開発された「高倉スタンダード」は、食育を通して生きる力を育むことを目指したカリキュラムであると伺っています。地域の皆様と共に汗する田植え体験や、京の料理人の方々から「本物」を直接学ぶ体験など、多くの皆様の熱意と創意工夫により実践されていると存じます。まさに「地域の子どもは地域で育てる」という、京都ならではの「はぐくみ文化」の象徴であり、誠に心強い限りです。

本市においても、食育の推進は重要な課題であると認識しております。現在も「健康長寿のまち・京都食育推進プラン」の下、「明日につながる今日の食 明日につなぐ京の食」をスローガンに、誰もがいきいきと輝ける京都のまちを目指し、食育の普及啓発や食育に関わる担い手育成などを進めているところです。皆様のお取組は、この計画を更に進める大きな力にもなります。改めて感謝申し上げます。

今回の御受賞を契機に、高倉小学校のお取組が一層充実したものとなり、引き続き本市の健康づくりを支えていただくことを祈念いたします。



農林水産大臣表彰 賞状



表彰記念盾

祝 辞

京都市教育長 在 田 正 秀

「第4回食育活動表彰 農林水産大臣賞」の御受賞を心からお祝い申し上げますとともに、教職員の皆様をはじめとする、高倉小学校の食育に関わってこられたすべての皆様に深く感謝と敬意の意を表します。

現代社会における生活様式の多様化によって、「食」を取り巻く環境が急速に変化している中、高倉小学校では6年前から、スマイル21プラン委員会の皆様をはじめ、地域・保護者の皆様と連携の下、京都ならではの「ほんまもん」の文化に触れることを大切にした食育の取組を推進いただいております。給食指導や家庭科での調理実習はもとより、農業体験や食に関する専門家の方々の話を聞くことで、改めて「食」を見つめ直し、課題を捉え、解決を目指す子どもたちは、毎日を大切に生きることや、命の尊さも実感を伴って学んでいることを確信しております。

高倉小学校での食育におけるお取組は、現在、すべての本市立小学校のモデルとなっており、本市の食育の推進を力強く牽引いただくとともに、全国からも注目を集めています。地域・保護者の皆様の御支援の下、こうした取組がさらに発展し、子どもたち一人一人の生きる力がしっかりと育まれることを御期待申し上げます。

本市といたしましても、一人一人の子どもたちを徹底的に大切にする教育理念の下、開かれた学校教育を推進してまいりますので、引き続き皆様の御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

ご 挨拶

前京都市立高倉小学校校長 岸 田 蘭 子

“食を慈しむ子どもを育てたい”平成26年に着任した当初から、学校経営の中心に食育を取り入れたいと考えていました。毎日の生活の食事をする中で、当たり前のように口にするもの一つ一つの食材やそれを口にするまでに労をいとまず用意してくれた人の思いにふれ、感謝していただく子どもを育てたいと思ったからです。この理念を実現するためには、三つの“間(ま)間”が必要でした。

一つ目は時間です。長く継続することで、子どもたちに浸透し、家庭にも理解を得ることができたと思います。時間はかかりますが、時間をかけてわかることや身につくことはたくさんあるからです。とくに食育は地道な日々の取組が必要です。

二つ目は仲間です。学校の教職員はもとより、保護者や地域の協力なしには、実現できることではなかったのです。子どもたちのためならと家庭の協力や地域の専門家の方をはじめ多くの方のご協力によって、カリキュラム・マネジメントを図ることができました。まさにワンチームで取り組んだ成果といえます。

そして三つ目は手間です。食事づくりもそうですが、子どもの教育には手間をかけないとよいものはできません。手間ひまをかけることで、よりよいものに練り上げられてきたように思います。一流を目指して手間をかけることは、他の取組にもつながっていくように思います。

毎日の食事は“人”を作ります。健康な体をつくることはもとより、健康な心を育みます。健康な知能を育みます。成長期にある学童期の子どもにとっては、さまざまな感覚を使う食育はとても重要なはたらきをします。

そして、やがて子どもたちが大きくなったときに、体にしみこんだ高倉の食育で学んだことをもとに胸を張って次の世代に伝えていってくれることでしょう。

この度、京都の高倉ならではの食育活動のカリキュラム「高倉スタンダード」の取組が農林水産大臣表彰を受けることができましたのも関係の皆様方のお陰です。心より感謝申し上げます。今後もこの取組が継続され、益々高倉小学校が発展していくことを心から願っています、どうぞ今後とも皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。

ご挨拶

京都市立高倉小学校校長 野 口 十三枝

本校は京都の中心部にあり、明治の番組小学校を系譜とし、多くの価値ある日本の伝統文化等の教育資源や人材があふれる大変恵まれた地域です。また、京の台所である錦市場を有し、古くから日常の生活文化に日本の伝統が浸透しており、そういった恵まれた環境の中で子どもたちは地域や保護者の皆様に見守られながら育てていただいています。

この度、「第4回食育活動表彰・農林水産大臣賞」を受賞させていただくこととなりました。前任の岸田校長先生が6年前に就任されてから、「食」を学校経営の中核にいた教育を展開し子どもたちに生きる力を育みたいという熱い思いで、高倉小学校独自の食育カリキュラム「高倉スタンダード」の開発に取り組まれました。そこには、本校の恵まれた環境を生かし、また、『「本物」に出合わせる』をキーワードに、どの学年の子どもたちにもその発達段階に応じた「食」の教育を位置づけ、それらを系統立てることによって小学校6年間の食育プログラムとし、「高倉スタンダード」が完成しました。

食育は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて健全な心と身体を育むものです。本校の子どもたちは6年間でたくさんの本物に出合い、様々な「食」の体験を通して心身共に豊かに成長してきています。子どもたちが大人になってからも、生涯にわたって実践し積み上げ、学んできた「食」の知識・経験や日本の食文化等を、次代に伝えていってくださるようにと願っています。

これらの取組は、地域や保護者の皆様と共に作り上げてきたものです。皆様のお力なしでは成し得なかったことです。改めて、地域の皆様、保護者の皆様、関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。また、本校に取組に熱意をもってご指導いただきご推薦いただきました京都市教育委員会の皆様方にも厚く御礼申し上げます。

今後この取組を継承し、さらに発展させていくことができますよう、今後とも皆様方のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

第4回 食育活動表彰

事例集



農林水産省

教育関係者・事業者部門 農林水産大臣賞

京都市立高倉小学校

(京都府) 活動期間 6年

地域と共に生きる力を育む食育カリキュラム「高倉スタンダード」の開発

「食育」を「心と体」を育む

地域の教育資源や人材を活用しながら、全校で1～6年生の系統立てた食育カリキュラムを開発し、持続的に改善を図りながら、授業に子供たちに食に関する興味・関心を持ってもらい、実践的・体験的な活動を教育課程の中にも盛り込んでいます。本校の取組は全体的なモデルとなり、市内各校での食育カリキュラムのモデルとなっています。



地域の農産物を使った食育活動

「本物体験」から学ぶ

地域の食に関する専門家（調理師、農人、漁師等）をゲスト講師として招き、だしについて学ぶ授業や魚料理の授業などの「本物体験」を取り入れることにより、子供たちの食に対する意識の高まりを感じています。また、教員からの子供への給食体験も行っており、幼児期からの食育カリキュラムも視野に入れています。



地元の子供たちに食育の授業

時間をかけて学校・家庭・地域で

食育カリキュラム「高倉スタンダード」は、学校・家庭・地域で連携して取り組んでいます。学校では、授業や放課後の活動を通じて食育を進めています。家庭では、食卓をとおして食育を進めています。地域では、地域の資源を活用して食育を進めています。

京都市立高倉小学校 校長 野口 十三枝

副校長 江崎 幸枝

もくじ

第4回食育活動表彰審査委員会 委員	1
第4回食育活動表彰講評	2

受賞団体・個人の取組紹介

本ランディア部門	
（食生活改善推進員）	
・ 稲佐町食生活改善推進員会	5
・ 東海村食生活改善推進員協議会	6
・ 大津市食生活改善推進員協議会	7
（大学等）	
・ 健康nutrition egg チーム（畿央大学）	8
・ 北九州市立大学 地域共生教育センター「食」から学ぶプロジェクト	9
・ 東京家政大学 食リノベーション実行委員会	10
（食育推進ボランティア）	
・ やまがた食育ネットワーク	11
・ 特定非営利活動法人 食生活応援ベジフル（ベジフル）	12
・ 特定非営利活動法人 食育推進	13
教育関係者・事業者部門	
（教育関係者）	
・ 京都市立高倉小学校	15
・ 北海道大学大学院農学研究院・北海道福祉推進局	16
・ 竹村 久生	17
（農林関係者等）	
・ 青森県まわり村	18
・ 石坂ファームハウス	19
・ 冬の野の台所	20
（食品製造・販売者等）	
・ 生活協同組合コープおきなわ	21
・ 合資会社 野田中産産	22
・ 小樽工芸館所「知恵を食しりべし」プロジェクト	23
（地方公共団体）	
・ 同城市食育推進会議	24

第4回食育活動表彰 講評



審査委員長
中嶋 康博
(東京大学大学院 農学系研究科 教授)

第4回「食育活動表彰」では、全国都道府県等から推薦された185件から、優れた19団体・個人の食育活動が表彰されたことを、心からお慶び申し上げます。

審査委員会では審査基準に基づき、先進性、継続性、有効性、波及性、実践性の5つの観点から評価し、さらに、以下について審査委員で熟慮を重ねて審査を行いました。

- ① 対象活動が第3次食育推進基本計画の5つの重点課題の効率的解決に資するものであるか。
- ② 「地域における食の循環」全体の中における活動の目的や目標を明確にし、企画、実施、評価までに至るまでの進捗を踏まえて活動を進めているか。
- ③ 教育機関としての役割や、管理栄養士等の専門知識としての活用、また企業自身の本来業務を踏まえて、広範な活動内容が食育の観点から特別に評価できるものとなっているか。

「ボランティア部門」（食生活改善推進員）では、地域の人々を食生活改善に導いていくために、地域の特性を活かした活動に取り組んでいるのが印象的でした。「同部門」（大学等）では、委員事例だけでなく卒業生に多くの大学が卒業生が活躍の場となる食育活動を推進していることが、食育活動における大学の役割の大きさを改めて感じられました。「同部門」（食育推進ボランティア）における食育ネットワークの取組は、地域のボランティアを地域全体でネットワーク化して互いに学びあう機会を創出するもので、各地の食育活動の広域な支援に結びつくことが期待されます。

「教育関係者・事業者部門」（教育関係者）における京都市立高倉小学校は、地域と共に児童の発達に合わせた効果的な食育カリキュラム「高倉スタンダード」を開発し、それが全市的なモデルとなっています。「同部門」（農林関係者等、食品製造・販売者等）では、地元産品の活用が、食育活動の推進に大きく貢献していることが印象的でした。また、地方公共団体）における、同城市食育推進会議は、多様な関係者が協働する効果的なイベントも活用しながら、子供から高齢者まで市民が幅広く参加して市が一体となるような食育の推進に取り組んでいます。

これらは第3次食育推進基本計画の重点課題の解決に資するものであり、今後のさらなる広がりが期待されます。

今回、国内外から個人、団体、企業等においても、今後の発展が期待できる興味深い取組や、特徴的な取組が数多くありました。表彰された取組を参考にしながら、今後さらなる食育活動の推進し、半年度も間隔を空けていただければと思います。この表彰が国民や社会への食育の推進の大きな契機となることを祈念いたします。

食育カリキュラム「高倉スタンダード」

教育課程の工夫
～体験の重視～

家庭・地域との連携

PTA家庭教育講座

1年 食で人とつながろう

スマイル給食
地域の人と一緒に食べよう



スマイル コミュニケーション部会

学級活動
道徳

2年 命を育てて食べよう

田植え～稲刈り～おもちつき

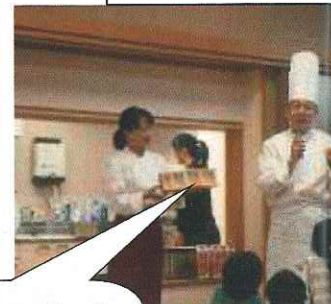


山科学校園

人と一緒に食べる楽しさを味わうことを体験する

生活科

野菜のお話
地元シェフに聞いてみよう



地元イタリア料理による授業

私たちはすべての食べ物の命をいただいて生きていることを知る

総合

3年 暮らしと食べ物をつなごう

イモの苗植え～収穫



山科学校園

昔から暮らしの中で工夫して食を大切にしてきたことを知る

社会科



錦市場商店街

親子料理教室

魚育 魚料理に挑戦

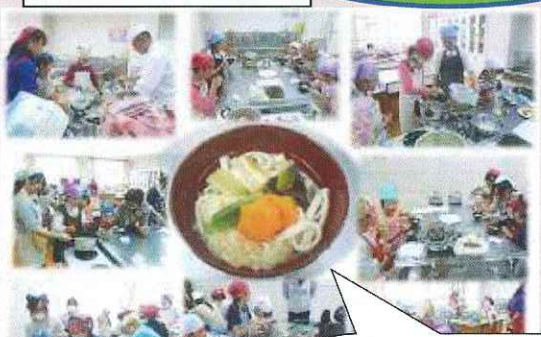


地元日本料理の講師を招いて

「魚」のつくりを知って料理をしてみる

土曜料理教室

五色うどんに挑戦



日本料理の講師による特別講座

課外学習講座

うどんだしを引いてみよう。和食の五色を覚えよう

PTA・地域主催

高倉まつり～エコについて考えよう

リユース食器を使おう



ごみを出さない工夫も考える

ランチルーム給食



副の食育

心身の健康と食を自ら考え、実践する子

6年 日本の伝統文化を受け継ごう

魯山人に学ぶおもてなし
盛り付けを工夫しよう



図画工作

私のBENTO

家庭科



おせち料理に挑戦

5年 京都の文化を知ろう

味覚の授業～だしの旨味と取り方を学ぶ

地元日本料理の講師を招いて



日本の食文化の素晴らしさに気づき、継承・発信できることを考える

家庭科



京都の地理と生産と消費者の工夫を知る

4年 地域と食のつながり

京都の農業と流通 街中の農育

社会科・総合

八百一六角農場



日簿 学級活動

毎月15日健康の食に関する指導＜

4月 給食の約束	6月 食べ物の名前 食べ物の三色分け	9月 給食当番の約束	10月 き嫌いせず 食べよう	12月 いろいろな国の食べ物 和食の大切さ	2月 給食について考えよう
5月 食事のマナー	7月 よく噛んで食べよう	11月 味わって食べよう 感謝して食べよう	1月 伝統食について知ろう	3月 給食について振り返ろう	

毎日の給食指導



第1学年

食で人とつながろう



1年生は、まず「食べることは楽しい」ということを体験を通して学びます。毎月の「健康の日」の日常の食の指導を通して、好き嫌いせずみんなと一緒に楽しく食べることや、食事のマナーや食文化についても学びます。1年生の終盤の1月には、いつも生活科の「冬も元気に」の学習の中で、学校運営協議会スマイル21プラン委員会のコミュニケーション部会にもかかわっていただく地域のお年寄りとの「昔遊びの会」があります。この「昔遊びの会」の後に、仲良くなった地域のお年寄りと一緒に給食を食べることになっています。

「嫌いだったものが食べられるようになった」「いつもおかわりするくらいたくさん食べられるようになった」「牛乳パックはこうやってたたむんだよ」など、子どもたちは、小学校に入ってできるようになったことをたくさん話をしながら、給食と一緒に食べてもらいます。「今の給食はこんなにおいしいのか。いいなあ。わたしたちの子ども頃はなあ…」と昔の話も聞かせてもらったりして会話がはずみます。ふだんとはちがって、いろいろな人と一緒に食べると楽しいことを実感することができます。

「また、一緒に食べようね。」「毎日元気でいてね。」

毎年、食を通じて、豊かな人間関係ができていくのを目の当たりにすることができるのです。学校だけでなく、地域や保護者と一体となって続けている取組に大きな意味があると考えています。

第2学年

命を育てて食べよう



2年生は、1年を通して生活科の学習「ぐんぐん育て！」でミニトマトなどの野菜を育てることや、山科校外学校園での田植え～稲刈り～お餅つきの体験を通して、命を育てていただくことを学びます。高倉小学校は市街地にあるため、このような体験は実際には難しいのですが、地域や保護者の協力によって、長年続けてきた伝統的な取組となっています。山科校外学校園¹⁾での田植え体験では、初めて田んぼに入って興奮しながら一人ずつ苗を植えていきます。自分で植えた苗が夏には大きくなり、秋には稲穂が垂れて実っていく様子を観察します。毎日の世話は地元の高野さんをお願いしていますが、夏の草取りに行ったり、かかしを作って立てに行ったり、自分たちでもできることを考えています。稲刈りの後は、保護者にも手伝ってもらって、脱穀・もみすりをします。そのあと精米をして、お餅つきの日を迎えます。自分たちで育てた命がこのようにめぐって食べ物になることを実感する日です。年明けには、地元のイタリアン料理の西沢シェフを招いて野菜の授業をしていただいています。「命をいただくことの意味」を子どもたちにもわかりやすくお話ししていただきます。また京野菜やめずらしい野菜をたくさん持ってきてくださると子どもたちの目の色が変わります。みんなと一緒にこの学習をすると、不思議なことに野菜が嫌いだったはずの子どももいろいろな野菜に手を伸ばして食しています。家に帰ると野菜の話を一っぱいしているそうです。最近、この授業を保護者にも案内して、できるだけ家庭と連携した食育を展開できるようにと考えています。

1) 山科御陵にある高倉小学校の教育施設としての学校園。統合前の元立誠小学校グラウンドを平成11年に整備し、学習施設としての学校園として生まれ変わった。毎年、5月・9月にはPTAサポーターが中心となって子どもたちの学習環境の整備にもあたっている。稲刈りの後の稲わらは、地元の祇園祭の粽の材料として使われている。

第3学年

暮らしと食をつなごう



3年生は「暮らしと食」のつながりについて学びます。2年生のときに田植え～稲刈りを経験した子どもたちは、今度は山科校外学校園でサツマイモを育てます。収穫したサツマイモを使って、自分たちで話し合っ、どのように収穫を祝うかを考えます。食べ物やお世話になった人々への感謝の気持ちも忘れません。また、社会科や総合的な学習の時間に地域の商業施設のスーパーマーケットや地元の錦市場への見学を通して、人々の暮らしと食がどのように結びついて支えられているのかを知ることになります。この学習は、学校運営協議会スマイル21プラン委員会の人・まち部会によって、学校と一体となって学習の企画運営にあたっています。地域の達人リストをもとに、子どもたちは自分たちの興味関心をもった達人の元へインタビューに出かけ、つぶさに見学させてもらったり、話を聞かせてもらったりすることによって、より深く地域の伝統や文化にふれながら、食を中心とする暮らしがどのように支えられているのかを学びます。これまで、意識していなかった食べ物がどのようにして私たちの元にやってくるのか、どのように工夫して作られているのかに興味や関心を寄せていく子どもたちの成長が見られます。

第4学年

地域と食のつながり



4年生は、社会科の学習を通して、3年生の京都市の学習から京都府の地理についても学習します。私たちが住んでいる京都市だけではなく、京都府の暮らしを知ることによって、多くの農産物が収穫されていることや、流通されていることを知ります。私たちの高倉小学校は京都の真ん中に位置しているので、付近には田畑はありません。ほとんどが商業地ですので、多くの子どもは店やスーパーマーケットに並ぶものしか見たことがありません。屋上に畑をもつ（六角農場）スーパーマーケットからお声かけしていただき、子どもたちに農育体験をさせてもらうことになりました。時期は根菜類が収穫できる冬場をお願いをしています。町中とは思えない屋上農園で、大きく育ったカブラや大根、金時人参などを引かせてもらっています。「こんな大きな大根引いたの初めて!」「金時人参ってこんなに引くのには力がいるとは思わなかった!」と感動の声があがります。また温室では、イチゴの受粉体験をさせてもらったり、ミニトマトの水耕栽培の仕組みを教えてもらったりします。なぜ、このような町の中のビルの屋上に大きな畑を作ったのか、そのわけも教えてください。

消費者と生産者を結ぶ仕掛けがあることに気付かされます。少しでも消費者に生産者の様子が届けられるようにと考えられていることを知った子どもたちは、店に並んでいる野菜や食べ物を見る目が変わってくるのです。また、日常の食の指導で教えてもらったように、できるだけ京都産のものを買って食べる地産地消の意味も実感をもって理解することができるようになるのです。この農育体験の授業もできるだけ保護者の方にも知っていただくために、2月の自由参観日の授業参観のひとこまにあてています。



5年生になると、家庭科の学習が始まります。京都市では、数年前より、日本料理に学ぶ食育カリキュラムで京都には欠かせない“だし文化”を取り上げるようになりました。本校では毎年10月に「味覚の授業」として、プロの日本料理人にきてもらって、「だしの授業」をしてもらっています。まずは、五味について知り、実際にだしの試飲をさせてもらったり、目の前でだしを取るのを見せてもらったりしています。ランチルームいっぱいに広がるだしの香りに子どもたちは、さまざまな感覚を働かせて学習していきます。自分たちでもだしを取って、味わいます。本校ではそのあとに、「秋のみそ汁コンテストをしよう」という課題で自分たちでおいしいみそ汁をつくるために計画し、グループで作ったみそ汁を審査員に味わってもらい学習をしています。味覚の授業で子どもたちが「今度のみそ汁コンテストでどんな食材を使うといいと思いますか?」と質問したら、講師の宮澤先生は「君はどんな食材がいいと思う?」と聞き返し「店に並んでいる食材を見て、秋らしいなとおもったらそれが正解。」と答えてくださいました。また「おいしくするためにどんな大きさに切ればいいのか?」という質問には「誰に食べてもらうかを想像してみるといいよ。その人のことを考えておいしそうに食べてもらえと思った大きさに切ればいい。」と答えてくださいました。まさに相手を思いやる日本の食文化を学んだのでした。こうやって、子どもたちは、おいしいものを作って食べてもらう食生活のあり方を実際に作り手と食べ手の立場を考えて、食を慈しむ姿へと成長していくのです。



6年生は、5年生で学んだ京都の食文化から日本の伝統文化へと視野を広げていきます。また自分たちが日本の伝統文化を受け継ぐ姿勢で、そのよさを外へ発信していく学びへと発展させていきます。四季の変化に富んだ日本の食文化は、季節感を大切に、人を持てなすことに心を砕きます。上の写真は、北大路魯山人を取り上げて、料理の盛り付け体験をすることから日本の伝統文化への関心を持たせた取組です。5年生の家庭科で学習したゆで野菜を盛り付けたのですが、日本料理の五色をふまえて、自分たちで器を選んで盛り付けてみました。器は地元の陶芸作家の先生に協力して提供いただきました。子どもたちの盛り付けを見てくださった日本料理の鵜飼先生は、「どの作品もおもてなしの心が表れていて素晴らしい」とほめてくださいました。そして、おもてなしの心についてもお話してくださいました。ここから子どもたちは、日本の伝統文化はいろいろな分野がありますが、それはみな底流でつながっていることに気がきます。総合的な学習の時間に、それぞれ自分が選んだ分野のお師匠さんについて学んでいくのですが、最後の発表会ではやはり、その底流でつながっていることを再確認します。日本料理の分野を選んだ子どもたちは、だし巻きや人参の飾り切りをマスターしておせち料理の盛り付けまでできるようになります。また、家庭科の最後の学習では、学びの総決算としてお弁当作りをします。日本料理で学んだ五味・五色・五法を駆使してレシピを考えます。そして、家族への感謝のメッセージを添えて、中学校に行ったら、自分でお弁当を作れるようになりたいと自立の言葉を書いて卒業していくのです。

日常の食の指導



高倉小学校では、毎月15日を「健康の日」として学級活動の時間に保健・給食・安全の学習をしています。年間の計画にもとづいて、この時間を活用して食の指導をすすめています。栄養教諭を中心に健康教育部が毎月の資料作成や準備にあたっています。各学級担任は学級の子どもたちの実態に合わせて、確実に指導を積み重ねて食に関する指導の充実をはかるようにしています。

健康の日（毎月15日）

		4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保健	低	けんこうしんだん	けがのぼうしと手あて	大せつなは（歯垢染出し）	なつのけんこう（熱中症）	きそく正しい生きつ	大せつな日	よいしせい	ふゆのびょうきのよぼう	げんきな体	こころのけんこう	1年かのはんせい
	高	健康診断	けがの防止と手当て	口腔の健康（歯垢染出し）	夏の健康（熱中症）	生活習慣と健康	大切な目	姿勢と健康	冬の病気の予防	ていこう力	心の健康	1年間の反省
食に関する指導	低	きゅうしよくのやくそく	しよくじのマナー	たべもの名まえ	よくかんでたべよう	きゅうしよくとうばんのやくそく	すききらいせずたべよう	あじわってたべよう	いろいろなくのたべもの	でんとうしよくについてしろう	きゅうしよくについてかんがえよう	きゅうしよくについてふりかえろう
	高	給食の約束	食事のマナー	たべもの三色わけ	よくかんで食べよう	給食当番の約束	好き嫌いせず食べよう	感謝して食べよう	和食の大切さ	伝統食について知ろう	給食について考えよう	給食の反省をしよう
安全	低	がっこうのいきかえりゆうぐのつかいかた	じてんしゃののりかた1じしんのとき	みちをわたるとき1	こうがいあんぜん	ひなんくんれん	みちをわたるとき2	じどう車と人1	こうないのあんぜん	じてん車ののりかた2じしんにそなえて	ふみきりをわたるとき	じどう車と人2じどう車にのるとき
	中	学校の行き帰りの道具の使い方	自転車の乗り方1地しんのとき	道を渡るとき1	校外のあんぜん	ひなん訓練	道を渡るとき2	自動車と人1	校内の安全	自転車の乗り方2地しんにそなえて	ふみきりをわたるとき	自動車と人2自動車に乗るとき
	高	登下校道具の使い方	自転車の乗り方1地しんのとき	道路の横断1	校外の安全	ひなん訓練	道路の横断2	自動車と人1	校内の安全	自転車の乗り方2地しんに備えて	ふみきりを渡るとき	自動車と人2自動車に乗るとき

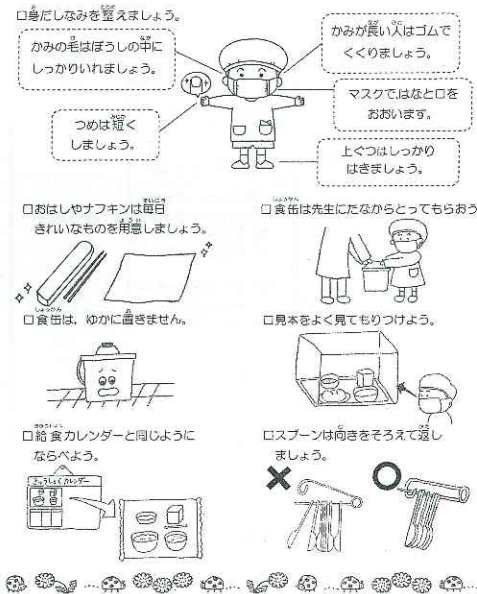
4月

もりもりぱくぱく

平成31年4月15日
東京都立高倉小学校
校長 岸田 潤子

4月12日から給食がはじまりました。今年も、いろいろなメニューが給食に出てきますよ。楽しみにしていてください。

給食のやくそく



学級活動における食に関する指導（全学年）

健康教育部

- 給食目標 給食の約束を知ろう
- ねらい 給食の約束を守り、安全に気持ちよく給食時間を通そうとする態度を養う。
- 教育の視点 給食の約束を守り、みんなと気持ちよく楽しい給食時間を通そうことができる。（⑤社会性）
- 指導時間 15分
- 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○4月の給食目標について確認するようにする。	
2 給食の約束について確認する。	○給食日よりもとに、給食の約束について確認できるようにする。 ○みんなが安全に気持ちよく食事をするために、給食の約束を守ることが大切であるということに気付くようにする。	
3 これから給食をつけていきたいことを考える。 ・見本を見てもりつける。 ・マスクはきちんとつけたい。	○これから給食をつけていきたいことを考えられるようにする。	【関心・意欲・態度】 給食のルールを守り、準備や後片付けをしている。



給食室での準備の様子



1年生の初めての給食



和室のランチルーム給食

5 月

もりもりばくばく

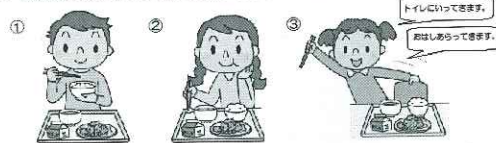
令和元年5月15日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 麗子

食事のマナーを知ろう



みんなで楽しく、おいしく食事をするためにはどうしたらよいか考えてみましょう。

1. ①②③の絵を見て、どんな食べ方がよいのか考えてみましょう。

トイレに行きます。
おはしを持ってきます。

2. どちらの食べ方がよいか考えてみよう。

【1】ごはん茶碗と しゃもじのおわんのおき方は?



【2】箸と おわんの 持ち方は?



【3】パンの食べ方はよい食べ方は?



☆みんなとたのしく食べるためにこれから気をつけたいことを書きましょう。



学級活動における食に関する指導 (低学年・育成学級)

令和元年5月15日

健康教育部

- 1 給食目標 食事のマナーを知ろう
-
- 2 ねらい 食事のマナーがある意味を知り、気持ちよく食事をしようとする態度を養う。
-
- 3 食育の視点 普段の食事を見直し、マナーを守ってみんなと食事をすることが出来る。
-
- (⑤社会性)

- 4 指導時間 15分
-
- 5 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○5月の給食目標について確認するようにする。	
食事のマナーを知ろう		
2 どのような食べ方がよいのか考える。	○それぞれのイラストをもとに、どのようなところがよいのか、また悪いところはどこか理由も含めて考えるようにする。 ○普段の自分の給食の様子を思い出し、食事のマナーが守れているか振り返りできるようにする。	
3 食事のマナーについて確認する。	○給食の様子を思い出しながらマナーについて確認する。 【1】① 【2】② 【3】③	
4 これから気をつけていきたいことを考える。	○食事のマナーを守ること、よりおいしく楽しい食事にするようにできることを確認するようにする。	【関心・意欲・態度】食事のマナーの意識を高め、楽しく食事ができるように考え実践している。

6 月

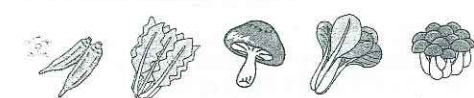
もりもりばくばく

令和元年6月17日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 麗子

食べ物について知ろう

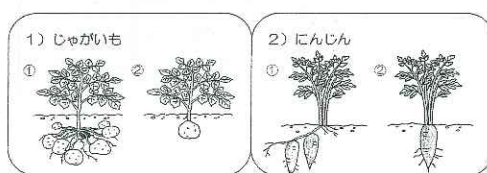


1. やさいのイラストと名前を確かめよう。

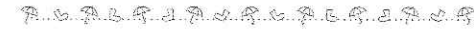


ほうれんそう こまつな おくら しめじ ししいたけ

2. どんなふうにもあるかな。食べているとどう感じるかな。



3. やさいには からだによい はたらきがたくさんあります。しっかり食べて元気にすごしましょう。



学級活動における食に関する指導 (低学年・育成学級)

令和元年6月17日

健康教育部

- 1 給食目標 食べ物について知ろう
-
- 2 ねらい 野菜について関心をもち、野菜をしっかりと食べようとする意欲をもつ。
-
- 3 食育の視点 野菜には健康な体をつくるために欠かせない働きがあることを理解し、食べようとする。(②心身の健康)

- 4 指導時間 15分
-
- 5 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○6月の給食目標について確認するようにする。	
食べ物について知ろう		
2 野菜の名前や野菜がどのようなものか考える。	○給食だよりのクイズをもとに、野菜の名前やどのように食べるのかなどを確認し、野菜に興味をもてるようにする。	
3 夏野菜の働きについて知る。	○野菜には様々な働きがあることを確認するようにする。 ・風邪の予防 ・おなかのそうじ ・はだかすべすべになる	【関心・意欲・態度】野菜の様々な働きを理解し、積極的に野菜を食べようとする意欲がもてている。

もりもりばくばく

令和元年5月15日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 麗子

食事のマナーを知ろう



みんなで楽しく、おいしく食事をするためにはどうしたらよいか考えてみましょう。

1. ①②③の絵を見て、どんな食べ方がよいのか考え付いたことを書きましょう。

トイレに行きます。
おはしを持ってきます。

2. おはしは正しく持っていますか?確認してみましょう。



正しく持てるという正しい食べ方ができますよ。



学級活動における食に関する指導 (高学年)

令和元年5月15日

健康教育部

- 1 給食目標 食事のマナーを知ろう
-
- 2 ねらい 食事のマナーがある意味を知り、気持ちよく食事をしようとする態度を養う。
-
- 3 食育の視点 普段の食事を見直し、マナーを守ってみんなと食事をすることが出来る。
-
- (⑤社会性)

- 4 指導時間 15分
-
- 5 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○5月の給食目標について確認するようにする。	
食事のマナーを知ろう		
2 どのような食べ方がよいのか考える。	○それぞれのイラストをもとに、どのようなところがよいのか、また悪いところはどこか理由も含めて考えるようにする。 ○普段の自分の給食の様子を思い出し、食事のマナーが守れているか振り返りできるようにする。	
3 箸のマナーについて確認する。	○おはしを正しく持つこともマナーの一つであることを確認し、正しく持てるように意識できるようにする。	
4 これから気をつけていきたいことを考える。	○食事のマナーを守ること、よりおいしく楽しい食事にするようにできることを確認するようにする。	【関心・意欲・態度】食事のマナーの意識を高め、楽しく食事ができるように考え実践している。

もりもりばくばく

令和元年6月17日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 麗子

食べ物のおしごとを知ろう



食べ物には、はたらきによって ① ② ③ の3つのグループに分けられます。

元気をなつくるためには、いろいろな食べものを組み合わせる食べ方が大切です。



<今日の給食を①・②・③の3つのグループに分けよう>

給食はみんなの体の成長をしっかりと考えた栄養バランスのよい食事です。
おかわりやおへらしによってバランスが かなりよくなりますか?
学校でもおうちでもバランスのよい食事を目標に健康な体をつくりましょう。

学級活動における食に関する指導 (高学年)

令和元年6月17日

健康教育部

- 1 給食目標 食べ物のおしごとを知ろう
-
- 2 ねらい 食べ物には、はたらきによって3つのグループに分けられることを知る。
-
- 3つのグループの食品をバランスよくとることが大切だと気付く。
-
- 3 食育の視点 食べ物それぞれに健康な体をつくるために欠かせない働きがあることを理解し、バランスよく食べようとする。(②心身の健康)

- 4 指導時間 15分
-
- 5 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○6月の給食目標について確認するようにする。	
食べ物のおしごとを知ろう		
2 食べ物のおしごとについて振り返る。	○給食だよりのクイズをもとに、食べ物のおしごとや3つのグループの食品について振り返るようにする。 ・ ① 体をなつくる ・ ② 熱や力のもとになる ・ ③ 体の調子をなつとる	
3 6月17日の給食の食材を3つのグループに色分けし、分類する。	○3食分組の食料を見ながらそれぞれのグループの食品が分けるようにする。 ○バランスのよい食事について考えられるようにする。 ○給食は3つのグループの食材がそろっていることが分かるようにする。	【関心・意欲・態度】3つのグループの食品をバランスよくとろうとしている。
4 これからの食事について気をつけることを考える。	○これから気をつけていきたいことを考えられるようにする。 ・ 好き嫌いしない。 ・ 給食を減らさない。	

7 月



令和元年7月16日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 寛子

もいもいぱくぱく

よくかんで食べよう

1. かむかむクイズにチャレンジしよう。

【1】どれが一番かたいでしょう。 【2】一口なん回かむのが体にいいでしょう。

- | | |
|-----|-------|
| ① 歯 | ① 10回 |
| ② 石 | ② 30回 |
| ③ 鉄 | ③ 50回 |

【3】よくかむことでどんなよいことがあるでしょう。

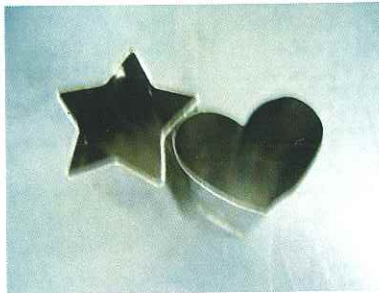
- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| ① 歯のはたらきがよくなる。 | ② 食べものの味がよく分かる。 | ③ つばがあまり出なくなる。 |
|----------------|-----------------|----------------|

2. 正しいかみかたをおぼえよう。

【1】せすじをばし 足をはかにつける。 【2】口の大きさにあった量の食べものを口にのける。 【3】くちびるをとじておく歯でしっかりとかむ。



夏の風物詩の祇園祭



給食の七夕そうめん

令和元年7月16日

学級活動における食に関する指導 (全)

健康教育部

- 給食目標 よくかんで食べよう
- ねらい よくかんで食べることを知り、よくかんで食べようとする態度を養う。
- 食育の視点 かむことで健康な体をつくることのできるということを理解し、よくかんで食べようとする。(②心身の健康)
- 指導時間 15分
- 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1. 本時のめあてをつかむ。	○7月の給食目標について確認するようにする。	
2. 歯の健康やよくかんで食べることを確認する。	○もりもりぱくぱくのクイズをもとによくかんで食べることを食育が確認できるようにする。 【1】①～③の順に、魚の骨もしっかりかむとみずくことができる。 【2】①～③で10回、左で10回全体で10回かむのが理想。 【3】①～③のかむことで、歯がたくさん出て味を感じる。	
3. 正しい姿勢やかみ方について知る。	○床にしっかりと足を付け、背すじを伸ばすことが正しいポイントであることを確認するようにする。	
4. 自身のかみ方について再度振り返り、これからの食事で気をつけることを考える。	○正しいかみ方や上手にかむためのポイントを確認し、これからの食事で気をつけることを考えるようにする。	【関心・意欲・態度】自身の健康を考えよくかんで食べようとしている。

9 月



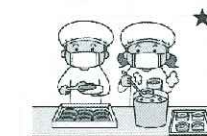
令和元年9月17日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 寛子

もいもいぱくぱく

当番や係は はやく上手にしよう

給食当番は、クラスみんなで楽しい給食をするために、給食の用意をしたり後片づけをしたりする、とても大切な仕事です。

☆ 給食当番の3つの あいことば ☆



★あんぜんに

あついおかずも多いです。湯ふときや蒸し器にもりつけるときは気をつけましょう。

★きれいに

箸先に食をつけて、見た目もきれいに盛りつけましょう。

★はやく

食べる時間が短くならないように手早く、準備をしましょう。

< 給食当番クイズ >

下の ○ に当てはまる言葉を答えよう!

- かみの毛が給食にはいらないように、しっかりと ○ をかぶります。かみの長い人はくみましょ。
- が とばないようにマスクをしましょう。
- エプロンは、顔についた ○ が給食にはいらないように、きちんと替ましょ。
- は、短くゆり、しっかりと手を洗いましょ。
- こぼさないように ○ は、しっかりとしましましょ。



令和元年9月17日

学級活動における食に関する指導 (低学年・育成学級)

健康教育部

- 給食目標 当番や係は速く上手にしよう
- ねらい 給食当番の役割を確認し、自身ができているか振り返りできるようにする。
- 食育の視点 給食当番の役割について理解し、当番活動に取り組むことができる。(⑤社会性)
- 指導時間 15分
- 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1. 本時のめあてをつかむ。	○9月の給食目標について確認するようにする。	
2. 給食当番の役割について確認する。	○給食だよりの3つの合言葉をもとに、給食当番の役割を確認できるようにする。	
3. 給食当番の身だしなみについて考える。	○クイズに答えながら、給食当番の身だしなみの意味について確認できるようにする。 ①ぼうし ②つば ③はこり ④つめ ⑤くつ	
4. 給食当番になったときに、気をつけていきたいことを考える。	○給食当番のようすを振り返り、これから気をつけたいことを考えられるようにする。	【関心・意欲・態度】給食当番の役割について理解し、当番活動に取り組もうとしている。



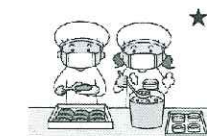
令和元年9月17日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 寛子

もいもいぱくぱく

当番や係は速く上手にしよう

給食当番は、クラスみんなで楽しい給食をするために、給食の用意をしたり後片づけをしたりする、とても大切な仕事です。

☆ 給食当番の3つの あいことば ☆



★安全に

あついおかずも多いです。湯ふときや蒸し器にもりつけるときは気をつけましょう。

★きれいに

箸先に食をつけて、見た目もきれいに盛りつけましょう。

★速く

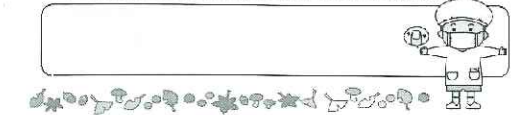
食べる時間が短くならないように手早く、準備をしましょう。

< 給食当番クイズ >

合っているものには○を間違っているものには×を()に書きましょ。

- 給食前の手洗いは石けんを使ってしっかりと洗うのがよい。()
- アルコール消毒は先生に必ずしてもらおう。()
- エプロンは、自分の顔がよごれないようにするために替えている。()
- 給食室にある見本は、中学年(3・4年生)の量である。()
- ごはんやパンの食器は、トレーの右手前に置く。()

< 給食当番になったときに気をつけたいことを書きましょ。 >



令和元年9月17日

学級活動における食に関する指導 (高学年)

健康教育部

- 給食目標 当番や係は速く上手にしよう
- ねらい 給食当番の役割を確認し、自身ができているか振り返りできるようにする。
- 食育の視点 給食当番の役割について理解し、当番活動に取り組むことができる。(⑤社会性)
- 指導時間 15分
- 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1. 本時のめあてをつかむ。	○9月の給食目標について確認するようにする。	
2. 給食当番の役割について確認する。	○給食だよりの3つの合言葉をもとに、給食当番の役割を確認できるようにする。	
3. 給食当番のルールについて確認する。	○クイズに答えながら、給食当番のルールやその意味について確認できるようにする。 ①○ ②○ ③× 顔についたはこりが入らないようにする。 ④○ (6年生は×) ⑤× 左手前に置く	
4. 給食当番になったときに、気をつけていきたいことを考える。	○給食当番のようすを振り返り、これから気をつけたいことを考えられるようにする。	【関心・意欲・態度】給食当番の役割について理解し、当番活動に取り組もうとしている。

10 月

もいもいばくばく

令和元年10月15日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 麗子

なんでも食べてしょうぶな体をつくろう

1. 自分の食生活をふりかえろう

自分の生活をふりかえり、☐の中に○×を書きいれよう。

- ① 1日3回食事をとっている ☐
- ② 食事は朝晩2回、決まった時間に食べている ☐
- ③ 好き嫌い、はしていない ☐
- ④ おかしは時間や量を決めて食べている ☐
- ⑤ 飲み物はお茶が多い ☐

○はいくつありましたか？×が多かったらといってすぐ病気になるわけではありません。しかし、かぜをひきやすくなったり、つかれやすくなったりと体の調子をくずしやすくなります。

食生活を見直し、バランスの良い食事を心がけて元気にすごしましょう。

2. バランスのよく食べよう

食べ物は、はたらきによって **からだのエネルギー** の3つのグループに分けることができます。元気に体をつくるためには、いろいろな食べ物を組み合わせて食べるのが大切です。



もいもいばくばく

令和元年10月15日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 麗子

なんでも食べてしょうぶな体をつくろう

1. 自分の食生活をふりかえろう

自分の生活をふりかえり、☐の中に○×を書きいれよう。

- ① 1日3回食事をとっている ☐
- ② 食事は朝晩2回、決まった時間に食べている ☐
- ③ 好き嫌い、はしていない ☐
- ④ おかしは時間や量を決めて食べている ☐
- ⑤ 飲み物はお茶が多い ☐

○はいくつありましたか？×が多かったらといってすぐ病気になるわけではありません。しかし、かぜをひきやすくなったり、つかれやすくなったりと体の調子をくずしやすくなります。

一度食生活を見直し、バランスの良い食事を心がけて元気にすごしましょう。

2. バランスのよい食事をしよう

昔ながらの日本型の食事で、栄養バランスのとれた献立を一汁三菜といえます。

副菜

ほかの料理で足りない栄養をおぎなう料理。

主菜

お肉や魚の食品を扱う料理です。



主菜

お肉や魚の食品を扱う料理です。

汁もの

野菜などを煮た汁料理です。

令和元年10月15日

学校活動における食に関する指導 (1・2年生、育成学級)

健康教育部

- 1 給食目標 なんでも食べてしょうぶな体をつくろう
- 2 ねらい 自身の食生活を振り返り、健康で丈夫な体をつくるためには、バランスよく食事をとることが大切だと気付く実践につなげる。
- 3 食育の視点 健康な体をつくるためには、バランスのよい食事が大切であることを理解しバランスよく食べようとする。(心身の健康)
- 4 指導時間 15分
- 5 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○10月の給食目標について確認するようにする。	
なんでも食べてしょうぶな体をつくろう		
2 自身の食生活について振り返る。	○給食日よりもとに、自身の食生活が振り返れるようにする。 ○日々の健康な生活の糧食糧が大切であることを確認するようにする。	
3 食べ物ははたらきによって3つのグループに分けられることを知る。	○給食日よりもとに、食べ物の働きや3つのグループの分類について確認する。 ・からだをつくる ・からだを動かす ・からだを調節する ・からだを強くする ・からだを元気にする ・からだを美しくする ・からだを強くする ・からだを元気にする ・からだを美しくする	
4 これからの食生活で気をつけることを考える。	○食生活の振り返りをもとにこれから気をつけていきたいことを考えられるようにする。 ・給食の食べ物を食べるようにする。	【思考・判断・実践】自身の食生活の振り返りをもとに、これから気をつけたいことを考え実践する。

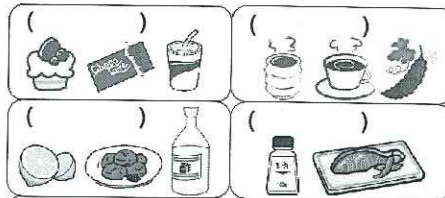
11 月

もいもいばくばく

令和元年11月15日
京都市立高倉小学校
校長 岸田 麗子

あじわって食べよう

1 しはどんなあじを かんじているのかな。



(うまみ) あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

あじわって食べているあじを あじわって食べよう。

令和元年11月15日

学校活動における食に関する指導 (低学年・育成学級)

健康教育部

- 1 給食目標 あじわって食べよう
- 2 ねらい あじわって食べることで食べることの楽しさや喜びを知り、マナーを守りあじわいながら食事をしようとする。
- 3 食育の視点 食べ物に興味や関心をもち、あじわって楽しく食事ができる。(食事の楽しさ)
- 4 指導時間 15分
- 5 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○11月の給食目標について確認するようにする。	
あじわって食べよう		
2 食事の中で、どんな味を感じているのか考える。	○給食日よりイラストを見ながら味のイメージをもつようにする。	
3 人はどのようにおいしさを感じているのか考える。	○体感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)や心でおいしさを感じていることに気付くようにする。 ○おいしさは食べ物だけでなく食事の雰囲気も大切であることを気付くようにする。	【思考・判断・実践】あじわって食べることで食べることの楽しさや喜びを知り、マナーを守りあじわいながら食事をしようとする。

令和元年11月15日

学校活動における食に関する指導 (高学年)

- 1 給食目標 食品ロスを減らそう
- 2 ねらい 食品ロスの削減や食事を食べるまでに様々な人が関わっていることを知り、食品ロスを減らすためにできることを考え、実践につなげる。
- 3 食育の視点 食事に携わる多くの人や自然の恵みに感謝し、残さず食べようとする。(感謝の心)
- 4 指導時間 15分
- 5 指導の流れ

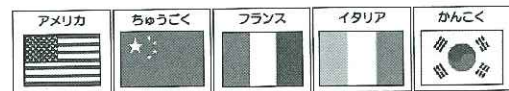
主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 食品ロスについて知る。	○食品ロス(食べ残しや期限がきれて食べられなくなった食べ物)が京都府でもたくさん出ていることに気付くようにする。	
食品ロスを減らそう		
2 食事ができるまでに、どのような人が関わっているのか考える。	○食事ができるまでに関わっている人について考え、たくさんの人の関わりによって食事ができることに気付くようにする。	
3 食品ロスを減らすためにできることを考える。	○様々な人が関わって作られている食事を自分らしくおいしく、家や給食でどんなことができるのか考えられるようにする。	【思考・判断・実践】食品ロスを減らすためにできることを考え、実践する。

12 月

もりもりぱくぱく

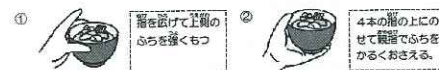
いろいろな国の食文化を知ろう

1 どこ国の料理でしょう。国の名前と料理の名前を線でつなぎましょう。

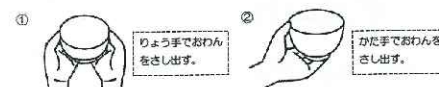


2 日本の食事のマナーで正しいのはどちらでしょう。

(1) おわんのもち方で正しいのはどちらでしょう。



(2) おかわりのときのおわんのもち方で正しいのはどちらでしょう。



令和元年12月16日

学級活動における食に関する指導 (低学年・育成学校)

健康教育部

- 給食目標 いろいろな国の食べ物を味わう。
- ねらい 世界の食べ物を味わい、世界の食文化に関心をもつ。
- 食育の視点 いろいろな国の食文化を知ること、世界の食文化に興味をもつ。(食文化)
- 指導時間 15分
- 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○12月の給食目標について確認するようにする。	
2 給食に登場する世界の料理について知る。 【解答】 アメリカーチャウダー 中国ー麻婆豆腐 フランスーポトフ イタリアースパゲッティ 韓国ービビンバ	○給食には、様々な国の料理が登場していることを確認する。	
3 日本の食事のマナーについて知る。	○日本の食事のマナーについて確認する。 ○日本の食事にもマナーがあるように、国によって様々なマナーがあることを確認する。	【関心・意欲・態度】 いろいろな国の料理やマナーがあることを知り、互いの文化を尊重する態度を養う。

いろいろな国の食べ物を味わう

1 月

もりもりぱくぱく

令和2年1月15日
京都市立西宮小学校
校長 岸田 寛子

行事食について知ろう

日本には昔から、伝統的な行事食が数多くあり、この行事食に合わせて食べる特別な食事を「行事食」といいます。新しい年の始まりである1月は、1年の始まりを祝い正月にちなんだ料理を食べます。

さて、正月の料理に関するクイズです。考えてみよう！

第1問

正月にかざる、おもちの名前はなんでしょう。

① 2だんもち
② かぎもち
③ だるもち

第2問

おせち料理の「エビ」は、お年寄りのように長生きできますようにという願いがこめられています。なぜでしょう。

① エビのひげが長いから
② エビのこしが曲がっているから
③ エビは長生きする生き物だから

第3問

おせち料理には、ごぼうやしいたけ、れんこんなどの野菜を煮た「煮しめ」が入っています。なぜでしょう。

① 「家族がながく暮らせるように」という願いから
② 「ごはんをたくさん食べられるように」という願いから
③ 「かしくくなりますように」という願いから

第4問

おせち料理のあまからい小豆を、「ゆずり」と呼ぶのはなぜでしょう。

① 昔、由緒に小豆がゆでたから
② 昔、ゆずを煮るときは、おやつに小豆を食べていたから
③ 昔、干した小豆をゆずの皮に包んでいたから

第5問

1月7日に食べる七草粥の中で、「スズナ」とはどの野菜でしょう。

① かぶ ② だいこん ③ にんじん



令和2年1月15日

学級活動における食に関する指導 (全学年)

健康教育部

- 給食目標 行事食について知ろう。
- ねらい 日本で昔から食べられてきた伝統的な行事食について理解を深め、日本の食文化に関心をもつ。
- 食育の視点 日本には伝統的な食文化である行事食があることや、その行事食にこめられた願いがあることを知り、日本の食文化に興味・関心をもつ。(食文化)
- 指導時間 15分
- 指導の流れ

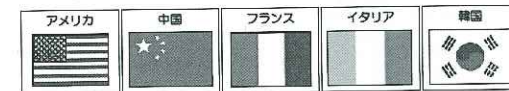
主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○1月の給食目標について確認するようにする。	
2 1月には1年の始まりを祝う食に関する風習があることを知る。また、おせち料理に込められた願いや思いについて考えられるようにする。	○1月の行事食について知る。 ○給食だけでなく、おせち料理やおせち料理に込められた願いや思いについて考えられるようにする。	【関心・意欲・態度】 日本で昔から食べられてきた伝統的な行事食について理解を深め、日本の食文化に関心をもつ。
3 日本の食文化について考える。	○日本の食文化は、季節や行事を大切にしてきたというよさが理解できるようにする。	

行事食について知ろう

もりもりぱくぱく

いろいろな国の食文化を知ろう

1 どこ国の料理でしょう。国名と料理名を線でつなぎましょう。



2 世界の食事のマナーについて知っていますか。○×で答えましょう。

- 日本では食べ物のしるがボタボタ落ちないようにもう一方の手でうけて食べる。 ☐
- 韓国では、食事をするときには一番年れいの人から食べ始める。 ☐
- 中国ではおもてなしされた料理は全て食べきらずに少し残す。 ☐
- ロシアでは食べるときは音を立てながら食べる。 ☐
- インドでは食べるときは右手のみで食べる。 ☐
- フランスでは、つくえいばいに料理をならべて食べる。 ☐



令和元年12月16日

学級活動における食に関する指導 (高学年)

健康教育部

- 給食目標 いろいろな国の食べ物を味わう。
- ねらい 世界の食べ物を味わい、世界の食文化に関心をもつ。
- 食育の視点 いろいろな国の食文化を知ること、世界の食文化に興味をもつ。(食文化)
- 指導時間 15分
- 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○12月の給食目標について確認するようにする。	
2 給食に登場する世界の料理について知る。 【解答】 アメリカーチャウダー 中国ー麻婆豆腐 フランスーポトフ イタリアースパゲッティ 韓国ービビンバ	○給食には、様々な国の料理が登場していることを確認する。	
3 いろいろな国の食事のマナーについて知る。 【解答】 ①× (手で受けて食べるのはマナー違反) ②× (目上の人を尊重し、年齢が一番上の人から食べ始める。) ③○ (十分もたなくてもいいという意識になる。) ④× (箸をたてて食べるのを嫌がる国は多い。) ⑤○ (左手は不浄の手) ⑥× (温度を保つためコース料理のように1つずつ提供する。)	○給食だけでなく、様々な国の食文化について考えられるようにする。	【関心・意欲・態度】 いろいろな国の料理やマナーがあることを知り、互いの文化を尊重する態度を養う。

いろいろな国の食べ物を味わう

2 月

もりもりぱくぱく

令和2年2月17日
京都市立西宮小学校
校長 岸田 寛子

学校給食について知ろう

1 学校給食のうつりかわり

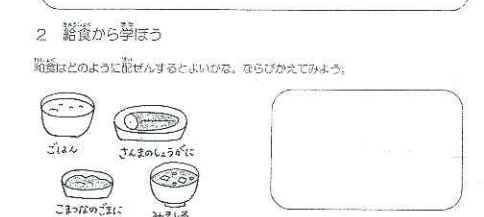
しょうわ22年 しょうわ24年 しょうわ25年
ミルク(脱脂粉乳)だけの給食 バンとミルクの給食 バンとミルクとおかずがつくようになりました

しょうわ26年 しょうわ28年 しょうわ30年
パンとミルクの給食 しょうわ28年 しょうわ30年
パンとミルクの給食 しょうわ28年 しょうわ30年

2 給食から学ぶ

給食はどのように配膳するのでしょうか。考えてみよう。

ごはん さんまのしょうがに しょうがのしょうがに しょうがのしょうがに



令和2年2月17日

学級活動における食に関する指導 (全学年)

健康教育部

- 給食目標 学校給食について知ろう。
- ねらい 学校給食の歴史について知り、給食の役割を理解し、それぞれが目標をもって食べようとする態度を養う。
- 食育の視点 給食の歴史や役割を知り、感謝の気持ちで食事しようという意識をもつ。(感謝の心)
- 指導時間 15分
- 指導の流れ

主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価
1 本時のめあてをつかむ。	○2月の給食目標について確認するようにする。	
2 学校給食の歴史から学校給食の役割について考える。	○学校給食の役割が確認できるようにする。 ・成長に必要な栄養がとれる ・味わう力や正しい食事のマナーを身につける ・行事食や季節の食べ物を知る ・伝統食や地域の食材を知る 等	【関心・意欲・態度】 給食の役割を理解し、それぞれが目標をもって食べようとする。
3 学校給食からどのようなマナーが学べるのか確認し配膳方法について考える。	○日々の給食の中で、マナーや好き嫌いな目標をもって過ごすことができるようにする。	

学校給食について知ろう

土曜クッキング教室



飯先生にだしの取り方を教わる子どもたち

3年生以上の子どもたちを対象に毎年募集を行い、希望者が参加しています。

講師は、日本料理の飯聡先生です。この講座では、日本料理のだしの中でも家庭でも応用がきく、うどんだしの取り方を教わります。うどんも乾麺にして家で自分でも用意しやすい材料をそろえて、「五色うどん」を作ります。ネギ・しいたけ・三つ葉・人参・ゆずできれいな五色のトッピングをします。かんたんにしかも、満足感のある出来栄に、子どもたちは「家でも作ってみたい!」と人気の講座となっています。

PTA 家庭教育講座 ～親子料理教室～



井山先生に魚のおろし方を教わる親子

毎年6月にPTA主催の親子料理教室を開催しています。地元の日本料理の井山さんにお世話になって、魚のあじを目の前で三枚におろす方法を実演していただき、魚の骨のしくみや身のつき方を教えてもらいます。そのあと、親子で、煮つけとカレー風味のムニエルに挑戦します。家庭でも扱いやすい食材なので「また家でやってみます!」と満足してレシピを持ち帰ってもらっています。魚が苦手だった子どもも、自分で料理することで、じょうずに骨を取っておいしそうに食べてくれます。材料の準備も錦市場の魚屋さんが協力して準備してくださっています。

保幼小連携の取組



栄養教諭から学校の給食について説明を聞く



1年生の給食の様子を参観してもらう

毎年、2月に近くの公立幼稚園の年長児のお友だちに小学校での給食参観にきてもらっています。小学校の入学にあたっての不安のひとつに「給食」があることを知って、子どもたちに少しでも安心して見通しをもってもらうことを目的に行っています。

毎日の給食にどんなメニューがでてくるのか、どれくらいの量を食べないといけないのか、給食当番はどんな風にしてするのか、もし食べられなかったらどうしたらいいのか、子どもたちはいろいろなことを不安に思っているのです。

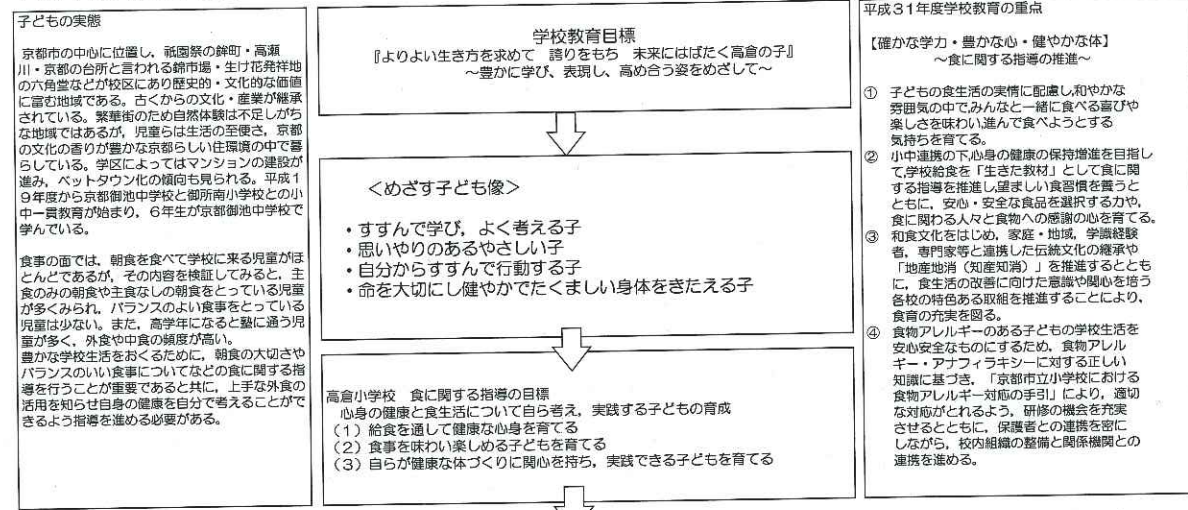
栄養教諭がひとつずつ、わかりやすく写真を見せたり、質問に答えたりしたあとに、実際に1年生の教室に行って、給食当番の様子や給食を食べているところをみてもらっています。1年生は新しい1年生を迎えるのに張り切っています、「だいじょうぶだよ。給食はおいしいよ。」と声をかけて安心させています。

年長児の子どもたちも「どうだった?」とたずねると「なんだかすっとした。」と答えてくれました。きっと、不安なことがすっきり解決したことを表現してくれたのでしよう。

入学をひかえた保護者の方の給食試食会も一昨年度から2月に行うことにしました。初めて小学校に子どもが上がる方や個別の対応で不安に思っておられる方は、少人数で学校の先生や先輩のお母さんにも相談にのってもらえるからと大変好評です。保護者の安心感は子どもにも伝わるので、入学を心待ちにして、給食も楽しみにしてもらえることは、保幼小連携の視点からはとても重要なポイントだと思います。

(資料)

平成31年度 食に関する指導の全体計画



各学年の発達段階に応じた食に関する指導の目標											
保育園・幼稚園	低学年			中学年			高学年			中学校	
○小学校給食について知り、小学校生活について見通しをもつことができる。	○食で人とつながることができる。 ・食事のマナーを身につけ、みんなと楽しく食べることができる。 ・食事を作ってくれた人への感謝の気持ちを育てる。 ○命をいただいていることを知る。 ・食べ物に感謝し大切に食べる態度を養う。 ・食べ物に興味・関心をもち、食品の名称が分かる。			○食べ物や飲み物の健康について考える。 ・食べ物は、栄養の働きによって3つのグループに分けられることが理解できる。 ・自分の食生活を振り返って見直し、健康に過ごすことと意識する態度を養う。 ○地域と食とのつながりを知ることができる。			○日本や外国の食文化の多様性について学び、互いの食文化を理解し、大切にしようとする。 ○食品の生産や流通について理解を深め、食品ロスや環境問題など食に関わる課題について考え、実生活で意識することが出来る。 ○自身の生活の課題について考え、望ましい食生活や生活習慣の改善について考え、実践できるようにする。			○自身の生活の課題を見つけて望ましい食生活や生活習慣の改善について考え、自らの健康を保持増進できるようにする。 ○食事を通して豊かな心と望ましい人間関係を構築できるようにする。	
給食時間 おまじ 学校活動 ●給食指導	4月 ○きょうしゅうのやうそく ○きょうしゅうのマナー ●みんなで仲良く楽しく食べよう	5月 ○たべものなまえ ○よくかんで食べよう ●食べ物について知ろう ●よくかんで食べよう	6月 ○たべものなまえ ○よくかんで食べよう ●食べ物について知ろう ●よくかんで食べよう	7月 ○きょうしゅうのやうそく ○きょうしゅうのマナー ●みんなで仲良く楽しく食べよう	8月 ○たべものなまえ ○よくかんで食べよう ●食べ物について知ろう ●よくかんで食べよう	9月 ○きょうしゅうのやうそく ○きょうしゅうのマナー ●みんなで仲良く楽しく食べよう	10月 ○きょうしゅうのやうそく ○きょうしゅうのマナー ●みんなで仲良く楽しく食べよう	11月 ○きょうしゅうのやうそく ○きょうしゅうのマナー ●みんなで仲良く楽しく食べよう	12月 ○きょうしゅうのやうそく ○きょうしゅうのマナー ●みんなで仲良く楽しく食べよう	1月 ○きょうしゅうのやうそく ○きょうしゅうのマナー ●みんなで仲良く楽しく食べよう	2月 ○きょうしゅうのやうそく ○きょうしゅうのマナー ●みんなで仲良く楽しく食べよう
行事・行事	入学祝い	子どもの日	七夕・祇園祭	月見・お彼岸	勤労感謝	正月	ひなまつり				
食に関する指導	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう	1年 給食のひみつをみつけよう 2年 大切に食べよう 3年 おかしな食べ方について考えよう 4年 よく噛んで食べよう 5年 主食の大切さについて知ろう 6年 清潔飲料水の飲み方について考えよう
全校一斉	9月 1月 食生活調べ										
保健指導	健康診断	けがの防止と手当	口腔の健康	夏・冬の健康	生活習慣と健康	大切な目	運動と健康	冬の病気の予防	抵抗力	心の健康	1年間の反省
学校行事	入学式 入学式 健康診断	遠足・修学旅行 いももち(3年) お餅つき(2年)	夏・秋・冬 プール学習 日曜学習 給食試食会(1)	夏・秋・冬 プール学習 日曜学習 給食試食会(1)	夏・秋・冬 プール学習 日曜学習 給食試食会(1)	夏・秋・冬 プール学習 日曜学習 給食試食会(1)	夏・秋・冬 プール学習 日曜学習 給食試食会(1)	夏・秋・冬 プール学習 日曜学習 給食試食会(1)	夏・秋・冬 プール学習 日曜学習 給食試食会(1)	夏・秋・冬 プール学習 日曜学習 給食試食会(1)	夏・秋・冬 プール学習 日曜学習 給食試食会(1)
教科との関連	国語	1年 香がおいしい・臭がおいしい 秋がおいしい・冬がおいしい	2年 ぐんぐん育て だいきさいいばいわたしの町 (香・臭・味・色) おこめフェスティバルをしよう	3年 朝晩の工夫について話し合おう ～すがたを愛する大豆～	4年 働く人と私たちの暮らし 働く人と私たちの暮らし 植物を育てよう	5年 京都府の様子・古くから受け継がれてきた産業の豊かな宇治市 季節と生き物(香・臭・味・色) 私たちの体と運動・すがたを愛する水	6年 私たちの生活と食生活・給食の材料・コメの育ちの豊かな環境・この国の食料とわたしたち・くらしを支える食糧生産・水産物の豊かな環境	7年 日本の歴史・世界の中の日本 世界の未来と日本の役割 体のつくりとからだの働き 植物の成長と水のかわり	8年 朝食から健康な1日を まかしてね!今日の食事 病気の予防 持続可能な社会	9年 伝統文化(和菓子・茶・日本料理)	10年 伝統文化(和菓子・茶・日本料理)
たから学習	給食試食会(6月・2月)、学校保健委員会、divodva食育、八咫一農務、もえぎ幼稚園新1年給食見学、スマイル給食、土曜学習フッキング、給食だより等										
食に関する個別指導の取り組み	アレルギー児童の保護者との面談と個別対応・除去食の提供(賛助教諭との連携に基づく)・咀嚼指導等										

あとかき

前京都市立高倉小学校栄養教諭 江頭 香衣

岸田前校長先生が食育の話をされるときに、よくでてきたキーワードが2つありました。「食は生きる基盤となる」と「ほんものを知ることの大切さ」です。

わたしは、高倉小学校での食育を進めていく中で、「生涯を通して食べることに付き合っていく力」を子どもたちが身につけていくことが重要であると感じました。食べることは命をつなぐことであり、また、家族や友人と一緒に食事をするだけで心も豊かにすることだと思っています。栄養教諭としてわたしにできることは、給食指導をはじめとした日々の食育の積み重ねを大切にしていこうことでした。

食育カリキュラム「高倉スタンダード」は、そこに、さらにプロの方の力をお借りして子どもたちの食への意識を高められるように、ほんものを知ることができるように考えられたカリキュラムです。小学生のうちからほんものに出会い、食を通して、自分も他人も大切にできる思いやりのある、あたたかな人に育ってくれることを心から願っています。

食育カリキュラム「高倉スタンダード」に関わり多大なご協力をいただきました皆様に心からお礼を申し上げます。

京都市立高倉小学校栄養教諭 梶浦 祥代

今年度赴任して気づいたことがあります。子どもたちの「味わう力」です。子どもたちは、だしの風味や、野菜などの素材の味、香り、そういったものに気付き、おいしいと味わうことができます。この力は、本来特に私たち日本人にとって、自然に身につけている力とも言われていますが、様々な食があふれる昨今、難しくなっていると言われています。また、一朝一夕で、知識だけで養えるものではありません。小さいうちからほんものに触れ、味わうといった様々な体験を通して身につけていく力だと思っています。この力は大人になっても生かされていくもので、小学生の時期につけておくことは将来において健康な食生活をしていくために、大変大切なものです。

食育カリキュラム「高倉スタンダード」でこれまで大切にされてきた思いや取組を大切に、今後も子どもたちが様々な体験を通して、将来につながる食の力を身につけていけるよう、引き継いでいきたいと思っています。コロナ禍で、今まで普通にしてきたことを普通にするのが難しい日々ですが、給食をはじめとし、「味わう」こと、「ほんものに触れる」こと「食を通しての人とのつながり」を大切しながら、今できることを子どもたちとともにしていきたいと思っています。

最後になりましたが、高倉小学校としての食のカリキュラムを作り上げてこられた、岸田前校長先生はじめ教職員の皆様、地域の方をはじめご協力いただいた皆様に敬意を表します共に、今後ともご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

研究同人

スマイル21プラン委員会

若林孝二郎	森木 礼子	城戸 思露
養内 徳蔵	井上 一	内田 裕子
中村 勝	渡部 幸恵	西中 卓也
諸井 誠一	上野 麻智	西田 知左
仁科 繁一	寺内 美紀	栗山 昌世
村尾 典雄	ベルトラン エリコ	丸山多賀子
香川 史朗	吉永 初美	片岡 良太
羽豆 成二	北尾 千春	金山 絢子
大脇 康弘	汲田 春野	保崎恵理子
西岡加名恵	奥田 千津	正木 瑠璃
石井 英真	新瀧美知絵	乾 千景
大森麻紀子	笹井永美子	浅島 直子
菊池 正和	山添 真寛	村山 孝道
鶴飼 泉	濱田 一晴	谷内 秀一
加藤 陽一	高岡 晋也	森本 和寿
西村 勝嘉	須磨 幸子	堤 英津子
島本 智之	馬場 万倫	北川佳代子
小島 英裕	田中 良重	金田 公一
井山 和彦	長谷川友恵	井澤 和司
寺村 貞亮	松井 崇	西 真季
戸井田邦子	住友真佐美	片岡 礼奈
恒松 玲子	坪井ファナ	荒木 由子
西嶋 直和	瀧本美千代	木村 陽子
倉橋 一真	土屋 祐実	太田 興
南 博史	手塚 貴奈	太田 光子

高倉小学校

岸田 蘭子	川瀬 拓朗	村山 安紀
野口十三枝	夜久 純	参田真実子
稲葉 康晴	服部 葵	三木 治代
長光 裕子	家村 菜月	北村友佳理
八木 悠介	水川 唯衣	西岡小百合
内藤 岳士	谷園 淳	山本 和美
福井 博美	牧 慎也	岩村 有紀
安原 麻耶	田中 清明	渡邊 梨左
阪口 涼子	宗接由香利	岩田恵梨子
三代 路子	佐坂 実香	上杉 典子
榊原 拓	橋本 滉生	武村 敦子
小川 友子	安川 愛佳	權谷 志乃
萩原美奈子	羽田 寿	福島 里美
宮崎 由希	伊藤 瞳	林 千香子
前西 潤二	扇 維茉莉	池田 明子
北川あやめ	馬場 優人	スピナト ジャネ ブルック
森川 史望	築瀬 萌枝	マリア クラリス
和谷 一廣	藤井英理子	エゼル カイル
谷口紗矢佳	上野莉香子	橋倉 憲子
吉川 武彰	大城 心輝	森岡理恵子
山田 万貴	灘 将貴	倉岡 順子
與那嶺桃子	小島 利博	寺西 由希
奥田 真里	二股沙羅紗	廣瀬 晴美
浦家 健太	高橋早和子	唐津 雅子
藤原 光	江頭 香衣	由本 慶子
井上 美咲	梶浦 祥代	森本 文子
備後友加里	田中 麻子	

学校医・学校薬剤師

俵 良裕	松本 良文	高橋 義公	安野 博樹	中村 匡	木島 早苗
------	-------	-------	-------	------	-------

高倉小学校PTA（役員）

寺村 貞亮	松井 崇	濱田 一晴	村山 孝道	恒松 玲子	藤本 幸世	山添 真寛
山口 朋子	横田 昭一	手塚 貴史	小澤さつき	船本 祥美	木村 陽子	千崎 里美
木伏 麻恵	加藤 晴	吉益 慎一	人見 玲香	稲富 美香	玉井 麻也子	

外部講師・外部連携機関

鶴飼 治二（懐石・宿 近又）	飯 聡（京都調理師専門学校）	西沢 昭信（リストランテ divo - diva）
宮澤 政人（日本料理 じき宮ざわ）	井山 和彦（京料理 井傳）	高山 正道（陶 芸）
高野 増夫（山科校外学校園）	六角 農 場（京都八百一本館）	錦市場商店街振興組合
松島屋本店（乾物屋）	「味覚の一週間」実行委員会事務局	小学館『和樂 web』編集部

京都大学大学院教育学研究科教育方法学研究室 大学院生

* この記念誌は 2019 年度公益財団法人「前川財団」の助成によるものです

